

報道機関各位

熊本大学

国立六大学連携コンソーシアムが日蘭国際シンポジウムを開催

国立六大学連携コンソーシアムは駐日オランダ王国大使館、オランダ高等教育国際協力機構（Nuffic）、日本博物館シーボルトハウスとの共催により、6月15日に日蘭国際シンポジウムを開催します。

第Ⅰ部では六大学のほかオランダを代表する世界トップランクの高等教育機関から研究者を招へいし、最新の医療・バイオ、農業、サステナビリティ等をテーマとしたシンポジウムを行います。第Ⅱ部では交流・意見交換会となる駐日大使レセプションを行います。本シンポジウムが日蘭双方の高等教育機関にとって戦略的連携を推進する貴重な機会となることを期待しています。

<概要> ※詳細は別添「開催案内」を参照

日 時 平成29年6月15日（木）

13:00～15:30 第Ⅰ部 日蘭シンポジウム（開場・受付開始 12:30）

16:00～18:00 第Ⅱ部 駐日大使レセプション（開場・受付開始 15:45）

場 所 第Ⅰ部 駐日オランダ王国大使館 出島ラウンジ（東京都港区芝公園 3-6-3）
第Ⅱ部 大使公邸

※取材について

本シンポジウムは事前登録制となっております。登録がない場合は入館できません。取材を希望する場合は、別紙取材申込書を作成のうえ、**6月12日（月）13:00まで**に国立六大学連携コンソーシアム事務局までご連絡ください。第Ⅰ・Ⅱ部ともに使用言語は英語です（通訳はありません）。

<オランダからの招へい者>

エラスムス大学医療センター クリス・バングマ 教授

ワーヘニンゲン大学 アリオ・ロットハウス 国際戦略アジア部門長

ユトレヒト大学カレッジ アントン・ファン・デ・フェン 上級講師

日本博物館シーボルトハウス クリス・スヒールメイヤー 館長

<出席予定者>

・日本側出席者

逢沢一郎衆議院議員、文部科学省、外務省、日蘭協会（佐倉日蘭協会・関西日蘭協会・岡山日蘭協会・長崎日蘭協会含む）の会員企業・団体、国立六大学学長及び大学関係者等

・オランダ側出席者

アルト ヤコビ駐日オランダ王国特命全権大使，駐日オランダ王国大使館関係者，オランダ高等教育国際協力機構（Nuffic），オランダ大学関係者，日本博物館シーボルトハウス，在日オランダ商工会議所（NCCJ）の会員企業・団体等

<国立六大学連携コンソーシアム>

国立六大学連携コンソーシアムは，平成 25 年 3 月に千葉大学，新潟大学，金沢大学，岡山大学，長崎大学及び熊本大学の国立六大学が，自主自立を尊重しつつ連携して，教育・学術研究・社会貢献等の機能を一層強化し，グローバル社会をリードする人材育成の推進と学術研究を高度化することを目的として設立されたものです。六大学の起源は，19 世紀に設立された旧制医科大学であり，そこでは 17 世紀から 19 世紀の間長崎の出島でオランダ人がもたらした西洋の技術と医学を発展させた「蘭学」を学問の礎としていました。

平成 28 年 8 月には，アライアンス間交流を目的として欧州の様々な大学連合との交流を進めるため，オランダを拠点とする国立六大学欧州事務所を日本博物館シーボルトハウス内に設置しています。

<お問い合わせ>

国立六大学連携コンソーシアム事務局

担当：穴沢，渡辺

TEL：03-6453-9781(9782)

E-mail：kyu6@cictokyo.jp

熊本大学担当窓口

マーケティング推進部国際戦略課

担当：吉岡

TEL：096-342-2108

E-mail：gji-kikaku@jimu.kumamoto-u.ac.jp



Embassy of the
Kingdom of the Netherlands

Nuffic
meet the world

JAPAN MUSEUM
SieboldHuis

2017年6月9日

国立六大学連携コンソーシアム

国立六大学連携コンソーシアム主催 日蘭国際シンポジウム 開催案内 「高等教育をめぐる日蘭関係の更なる発展について」

1. 開催の趣旨

国立六大学連携コンソーシアム(SUN/SixERS)は、平成25年3月に千葉大学、新潟大学、金沢大学、岡山大学、長崎大学及び熊本大学の国立六大学が、自主自立を尊重しつつ連携して、教育・学術研究・社会貢献等の機能を一層強化し、グローバル社会をリードする人材育成の推進と学術研究を高度化することを目的として設立されたものである。六大学の起源は、19世紀に設立された旧制医科大学であり、そこでは17世紀から19世紀の間長崎の出島でオランダ人がもたらした西洋の技術と医学を発展させた「蘭学」を学問の礎としていた。

この歴史的背景及び21世紀の高等教育の国際化に伴い、SUN/SixERSは大学間連携を構築し、両国間の高等教育における交流・連携において先導的な役割を果たすことで、日蘭関係の更なる発展とグローバル社会の改革に貢献していくものである。この度のシンポジウムが、日蘭双方の高等教育機関にとって戦略的連携を推進する貴重な機会となることを期待して開催する。

2. 主催機関

国立六大学連携コンソーシアム

3. 共催機関

在日オランダ王国大使館、オランダ高等教育国際協力機構(Nuffic)、シーボルトハウス

4. シンポジウム概要 ※プログラムの詳細は、P.3を参照

日 時：平成29年6月15日(木)

13:00~15:30 第I部 日蘭シンポジウム (開場・受付開始 12:30)

16:00~18:00 第II部 駐日大使レセプション (開場・受付開始 15:45)

場 所：駐日オランダ王国大使館

- ・(第I部) 事務棟 出島ラウンジ:大使館正面ゲートから直進約100m、突き当たりの建物のロビーを入ってすぐ左
- ・(第II部) 大使公邸:大使館正面ゲートを入って右手奥

会場 駐日オランダ王国大使館

■住所

東京都港区芝公園 3-6-3

■TEL : 03-5776-5400

交通アクセス

■電車でお越しの場合

- ・地下鉄日比谷線神谷町駅から徒歩 5 分
- ・都営三田線御成門駅から徒歩 8 分



※お車でお越しの場合、大使館敷地内には乗り入れできませんので、近隣の駐車場をご利用下さい

5. その他連絡事項とお願い

- 入館方法**
- ・当日は大使館入り口警備員詰所にて、「日蘭シンポジウムに参加」と申告下さい。
 - ・その際、写真付き身分証明書（運転免許証または旅券）の提示を求められる場合がありますので当日忘れずにお持ち下さい（職員証などは不可）。
 - ・本シンポジウムは事前登録制となっております。登録がない場合は入館できませんので、ご注意ください。

- ドレスコード**
- ・シンポジウム、レセプション共にクールビズ・ノーネクタイとなっております。

- 発表者の方へ**
- ・プレゼン時間は 1 人 10 分とさせていただきます。
 - ・プレゼン資料データは 6 月 12 日（月）17:00 までに 国立六大学連携コンソーシアム事務局（E-mail : kyu6@cictokyo.jp）宛にお送りいただけますよう、お願い致します。お送りいただいたデータは当日 PC に入れて会場に持ち込みます。



Embassy of the
Kingdom of the Netherlands

Nuffic
meet the world

JAPAN MUSEUM
SieboldHuis

6. プログラム（使用言語：英語）

第Ⅰ部（オランダ大使館事務棟 出島ラウンジ）

13:00-15:30 日蘭大学関係者によるシンポジウム

・開会挨拶

在日オランダ王国大使館 ヤン・ハイン・クリストッフェルス 科学技術参事官
Nuffic(オランダ高等教育国際協力機構)ハン・ドマース 教育部門長
国立六大学連携コンソーシアム 連携機能強化推進本部長・長崎大学 片峰 茂 学長

・日蘭大学関係者によるプレゼンテーション

〔日蘭交流〕

- シーボルトハウス クリス・スヒールメイヤー 館長（ライデン大学総長代理）

〔医療・バイオ〕

- 岡山大学 那須 保友 大学院医歯薬学総合研究科長
「医学領域における国立六大学連携コンソーシアムの取組み」
- エラスムス大学医療センター クリス・バングマ 教授
- 長崎大学 山下 俊一 理事・副学長（国際・附置研究所担当）
「長崎大学からの放射線健康・生命科学；歴史と文化を基盤とした共同研究」
- 金沢大学 中村 裕之 先進予防医学研究科長・教授
「千葉大学・金沢大学・長崎大学 先進予防医学共同大学院」

〔農業〕

- ワーヘニンゲン大学 アリオ・ロットハウス 国際戦略アジア部門長
“To explore the potential of nature to improve the quality of life”
- 千葉大学 渡邊 誠 理事（教育・国際担当）
「植物工場サービスシステムの開発」
- 新潟大学 高橋 秀樹 副学長（国際、環東アジア構想担当）
「新潟の地域レジリエンスと農業～環東アジアへの窓口としての新潟大学～」

〔サステナビリティ〕

- ユトレヒト大学カレッジ アントン・ファン・デ・フェン 上級講師
“Sustainability as Natural Part of Liberal Arts & Sciences Education”

〔工学〕

- 熊本大学 河村 能人 先進マグネシウム国際研究センター長・教授
「熊本大学における先端マグネシウム合金研究プロジェクト」

第Ⅱ部（オランダ大使公邸）

16:00-18:00 駐日大使レセプション

15:45 開場

- 16:00 ・ 歓迎スピーチ：特命全権大使 アルト・ヤコビ 閣下
- ・ シンポジウム開催報告と今後の国立六大学連携コンソーシアムとの更なる連携
：Nuffic ハン・ドマース 教育部門長
- ・ 来賓挨拶：逢沢 一郎 衆議院議員

16:20-18:00 レセプション

- ・ 六大学代表者による乾杯スピーチ：岡山大学 榎野 博史 学長
- 17:45 ・ 中締め
- 18:00 終了

【問い合わせ先】

国立六大学連携コンソーシアム事務局 担当：穴沢、渡辺
TEL：03-6453-9781(9782) E-mail：kyu6@cictokyo.jp